

資料提供			
月日（曜日）	担当課	電話番号	担当者
6月21日（土）	危機管理政策課	088-621-2711	坂東・梶浦

危機管理連絡会議の開催結果について

以下のとおり、危機管理連絡会議を開催いたしましたので、お知らせいたします。

- 1 日 時：令和7年6月21日（土） 午前11時から午前11時10分まで
- 2 場 所：万代庁舎4階 災害対策本部室
- 3 出席者：危機管理部副部長、危機管理部次長、保健福祉部地域保健統括官、
感染症対策課長、各部局主管課副課長など計21名
- 4 協議概要：マダニによる「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」等の感染予防について

■感染症対策課から説明

- 今年に入り初めて重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者が県内で確認された。
- 患者は美波保健所管内に在住の80歳代女性で、6月18日に発熱、6月19日に医療機関を受診、6月20日には医療機関に入院。
- 医療機関から美波保健所に「SFTS」の行政検査の依頼があり、昨日、保健製薬環境センターの検査で、SFTSウイルスに感染していたことが確認され、現在は医療機関に入院・加療中。
- 予防方法としては、マダニに咬まれないことが最も重要。
- 県医学・感染症専門員である馬原先生からは、春から秋にかけてがマダニの活動期であり、
 - ・草むらや、山に出かける際は、肌を露出しない服装にすること
 - ・屋外活動後は、マダニが付着していないか確認すること
 - ・マダニに咬まれたり、発熱等の症状があった場合は、直ちに医療機関を受診すること
 などの話をいただいている。
- 県では、マダニの活動が活発となる時期に合わせ、市町村、教育関係機関、県医師会などの関係機関に対し、リーフレットを配付するとともに、ホームページで注意喚起を行っている。
- SFTSは、四類感染症に分類されており、通常は県感染症情報センターから、届出数等の公表を行っているが、今回は「感染対策上の必要性」から、特に個別発表を行うもの。
- マスコミの皆様には患者等の個人情報については、プライバシー保護の観点から、特定されることがないように、格段の御配慮をお願いする。

■保健福祉部 地域保健統括官より、次のとおり各部局に指示

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の感染予防について
 - ・マダニによる「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」による「陽性患者」が、今年度、県内で初めて確認。
 - マダニは春から秋にかけて活動が活発になり、SFTSは重症化すると死に至ることもある病気であるとともに、「日本紅班熱」などの感染症も媒介している。
 - ・マダニが媒介する感染症の予防方法は、マダニに咬まれないことが最も重要であり、さらに、専門家の方からは、マダニに咬まれたり、発熱等の症状があった場合は、直ちに医療機関を受診すべき、との話もいただいている。
 - ・今後も、庁内関係各課や関係機関の連携を密にして、様々な機会をとらえ、県内全域で感染予防の啓発や注意喚起を行うことをお願いしたい。